

相模原市新型インフルエンザ等対策行動計画（案） に対する意見と市の考え方

募集期間

平成25年9月17日（火曜日）～平成25年10月16日（水曜日）

意見提出者数及び件数 1人（団体）・1件

意見の要旨	市の考え方
<p>新型インフルエンザ等対策行動計画に禁煙推進と受動喫煙防止対策が不可欠です。</p> <p>1 インフルエンザのみならず、呼吸器感染症全般（上気道炎、肺炎、結核、季節性インフルエンザを含む）の罹患・重症化の予防及び死亡リスク対策として「タバコ対策＝禁煙推進、受動喫煙の危害防止」が重要ですが、新型インフルエンザ等対策行動計画にこの「タバコ対策＝禁煙推進、受動喫煙の危害防止」を基本対策として盛り込むことが不可欠です。</p> <ul style="list-style-type: none">・インフルエンザと喫煙の関係は、喫煙者は非喫煙者の2.42倍インフルエンザに罹患しやすく、罹患すると重症になることが確かめられています。（症状が重くなる確立は、非喫煙者30％・ヘビースモーカー54％で、インフルエンザ患者の31％は喫煙がなければ発病しなかった。）・新型インフルエンザの罹患・重症化・死亡リスクを減らすためには、生活習慣病対策、とりわけ禁煙・受動喫煙防止推進が最も重要な対策のひとつです。新型インフルエンザ対策としてタバコ対策は非常に有効なので、これらの対策を行動計画に盛り込むべきです。	<p>喫煙は、多くの疾病と関わりがあるとともに、周囲の人への健康にも影響を及ぼすことから、市では「相模原市保健医療計画」において総合的に喫煙対策に取り組むこととしております。</p>